

ツール#2a (続き)

作業グループ	コンソーシアム
1月 会議の目的： ・ 目標・達成目標の改訂 ・ 戦略に対するブレインストーミングの継続	
2月 タスク： ・ 優先順位を設定した目標・達成目標および論理的根拠をコンソーシアムに提示	2月 会議の目的： ・ 目標・達成目標の選択 ・ 特定の目標・達成目標の支援の登録
3月・4月 会議の目的： ・ 目標・達成目標の改訂 ・ 戦略の策定を開始	
5月 タスク： ・ 戦略をコンソーシアムに提示	5月 会議の目的： ・ 作業グループへのフィードバックの提供 ・ 実施のための構造についての討議 ・ 「支援」が何を意味するかの討議と定義
6月 タスク： ・ 共同議長が最終の課題声明書・目標・達成目標・戦略を提出 ・ がん計画策定に必要な技術援助の提供	
	9月 タスク： ・ 実施構造に関する継続討議 ・ 計画の草案コピーを配布して吟味とコメントを求める
10月・11月 タスク： ・ 計画草案の審査とフィードバックの提供	10月・11月 タスク： ・ 計画草案の審査とフィードバックの提供
	1月 会議の目的： ・ 完成した計画の発表 ・ 実施構造とメンバーの発表 ・ 打ち上げ！

ツール#2b ユタ CCC イニシアティブのプロセスの概要・タイムライン

会議		日付	達成目標
パートナーシップ	作業グループ		
第1回会議		2000.5.2	イニシアティブを概観し、賛同を得て計画を開始する
第2回会議		2000.6.14	イニシアティブのプロセスについて合意し、作業グループに分かれる
	第1回会議	7月	作業グループを結成し、ニーズを特定し、資源を取得する
	第2回会議	8月	問題声明書を作成する
第3回会議		9月	作業グループは課題声明書を提出し、拡大グループがそれをレビューしてフィードバックを提供する
	第3回会議	10月	課題声明書を修正する
	第4回会議	11月	課題に取り組むための戦略を考案する
第4回会議		1月	作業グループが課題声明書に対する戦略を発表する 拡大グループがそれをレビューしてフィードバックを提供する
	第5回会議	2月	戦略を修正する
	第6回会議	3月	分野横断的な課題とニーズを取り上げる
第5回会議		4月	戦略を仕上げる 機能別作業グループに転換する
	第7回会議	5月	分野横断的課題を吟味する
	第8回会議	6月	戦略を策定する
第6回会議		7月	作業グループが機能別戦略を提示する 拡大グループがそれをレビューしてフィードバックを提供する
	第9回会議	8月	
第7回会議		9月	1年間の優先順位を決定する
執筆者		10・11月	最終計画を執筆する
第8回会議		12月	書き上がった計画を承認する

ツール#3 「計画活動の年表」

このツールは、CCC 計画プロセスの間に発生する全ての活動を、時系列に沿って記録するのに利用できる。ここに掲載するツールは、イリノイ州とメイン州の計画調整担当者が用いた同種のツールを合成したものである。両州では、計画調整担当者が計画プロセスの一部として起こった全ての出来事と活動を記録した。彼らはひとつひとつの出来事や活動に対し、起こった日付を記録して簡単な説明を加えたほか、下された決定、生み出された成果物、またはその他のアウトカムを記載した。このツールは、計画調整担当者が自州内で起こった全ての計画活動、下された決定、作成された成果物の完全な記録をつける手助けをしてくれる。発生順の記録を計画イニシアティブ用に設定したタイムラインと比較すれば、進展具合やタイムラインを調整すべきかどうかの判断が可能になる。表に列を追加して、出来事の記述とアウトカムとを別の列に書き分けるといった方法も考えられる。ただし、表が複雑になるほど使い方も難しくなる可能性があるため、計画者にはデザインはシンプルにしておくことをお勧めする。ツールに示した日付表示様式 (YYYY/MM/DD) は、ワープロソフトウェア、スプレッドシートその他表を用いるコンピューターアプリケーションで日付による仕分けが簡単にできるようにしたものである。

ツール#3 計画活動の年表

日付 (YYYY/MM/DD)	活動およびアウトカムの記述 ¹
1998. 6. 4 <i>「イリノイ州の例」</i>	がん管理計画作業グループ会議 公衆衛生教育者協会 (SOPHE: Society of Public Health Educators) 会議の経験を共有した。ノースカロライナ州の計画と CDC のフレームワーク文書をレビューした。作業グループの能力をアセスメントした。パートナーの初回リストを作成した。今後の活動の予定を立てた。
1998. 7. 8 <i>「イリノイ州の例」</i>	パートナーシップ構成小委員会会議 公共、民間、ボランティアによるパートナーシップの正式名称を「イリノイがん予防・管理パートナーシップ (Illinois Partnership for Cancer Prevention and Control)」に決定した。パートナーの数は「扱いやすい」数とし、メーリング用に追加リストを設けることで合意した。
1999. 4. 14 <i>「メイン州の例」</i>	保健局コアグループとの会議 4月30日の会議用の資料集について話し合う。資料集に含めるのはパテルからのニーズアセスメントのマトリックス、参加者リスト、CCC の定義、協議事項、講演者の略歴、ミシガンのスライド、6月8日の会議の告知、関心度調査用紙、パートナー調査。

2.0 支援の結集

このセクションで紹介するツール

ツール#4「活動グループのプロジェクト報告」

ツール#5「プロジェクト資金調達提案」

このセクションで紹介するツールは、がん管理計画向けに提案された実施プロジェクトおよび活動の概要を示し、それを州内のがん予防・管理の利害関係者に伝えるために利用される。こうしたツールは、計画の策定が進行した後に、がん予防・管理の取り組みに対する支援を系統的に結集するための取り組みを表している。ここで紹介する2例のサンプルツールは、イリノイ州で開発されて使用されている。

ツール#4「活動グループのプロジェクト報告」

これはイリノイ州の活動グループのメンバーが、特定のプロジェクトを要約するのに利用する報告書の体裁である。この場合の特定プロジェクトとは、グループのメンバーが携わることを予定しているもので、なおかつパートナーが現物で提供できる範囲を超えた資源は必要としないプロジェクトである。この体裁は、プロジェクトの名称、連絡先、説明、導入の根拠、目標と達成目標、作業計画、評価法などの情報を書き入れるようになっている。この報告はいくつかの目的にかなう。まずこの報告は、活動グループが自分たちのやっていることをほかのパートナーに知らせる効率的な方法である。またこの報告は、各活動を支える作業グループのメンバーの役割に一定の形を与え、作業グループの成果を評価するためのステージを設定する。

ツール#5「プロジェクト資金調達提案」

この用紙はイリノイ州の作業グループが、パートナーシップ内部で入手可能な範囲を超えた資金を必要とする活動を略述するために使用した。この体裁では、プロジェクトの名称、連絡先、定義説明、理論的根拠、目標と達成目標、プロジェクト継続期間、評価方法、推定予算、現物出資、責任といった情報を求めている。

この提案書式はいくつかの目的にかなう。この提案は、活動グループが、十分な資源が利用できればパートナーシップで取り組みばよいと考えるプロジェクトについて、他のパートナーに知らせる効率的な方法である。また、各活動を支える中で作業グループのメンバーが果たしうる役割に一定の形を与え、作業グループの成果を評価するためのステージを設定する。この提案は見込みのある資金提供者に示すこともできる。この提案には、資金提供者がそのプロジェクトの実行可能性とメリットを検討するのに必要な情報の大部分が含まれている。

ツール#4 活動グループのプロジェクト報告

イリノイ CCC プログラム

活動グループ：データとサーベイランス

日付：

担当者：

電話：

ファックス：

電子メール：

プロジェクトの名称： 2000年におけるイリノイ州のがんの現状に関する報告書

簡単な説明： イリノイ州で入手可能ながん統計データを含む出版物

導入の根拠： 全州規模のがん管理プログラムを計画して実施するためには、データの収集とサーベイランスが不可欠である。データはがんの影響・負荷の定義、危険にさらされている集団の同定、介入の対象設定、プログラムの有効性とアウトカムの評価に利用されている。データ・サーベイランス報告は資源の探索や、予防、スクリーニング、早期発見、治療および費用の問題に関連する政策の推進に利用できる。

目標と達成目標：

目標： イリノイ州におけるがんについて、データに基づく情報を見いだして提供する。

- 達成目標：**
- * 郡レベルのBRFSSデータを用いて、乳がん、子宮頸がん、大腸がん、前立腺がん検診利用パターンを判定する（優先順位2、戦略2、活動1）
 - * 州および郡レベルにおける診断時のステージの傾向をモニタリングする（優先順位2、戦略2、活動2）
 - * イリノイ州乳がん・子宮頸がんプログラムの提供するマンモグラフィと子宮頸部細胞診をだれが受けているのかについてプロフィールを作成する（優先順位2、戦略2、活動3）
 - * がん検診のコンプライアンスを拡大するために利用可能なデータと、検診受診率の低さの理由を究明する（優先順位2、戦略2、活動2）
 - * 適切なデータ資源を用いて、イリノイ州各郡におけるがんの発生率および死亡率の格差を同定する（優先順位3、戦略2、活動3）
 - * イリノイ州のがん有病率を年齢、人種、性別、民族別の集団でレビューし、格差を明らかにして説明する（優先順位3、戦略3、活動1）
 - * 統計を用いることによって、選択したターゲット集団に影響を及ぼすリスクファクターで改善可能なものを正確に突き止める（優先順位4、戦略2、活動1）

ツール#4 (続き)

作業計画: (記入事項 (1) 各ステップ・行動に責任を負う人物・組織と (2) タイムライン)
イリノイ州公衆衛生局疫学研究課、がんの発生率のデータを提供。
イリノイ州公衆衛生局保健統計課、死亡率およびBRFSS データを提供。
イリノイ州医療費抑制協議会、入院データを提供。
イリノイ州公衆衛生局慢性疾患担当課、IDPA に医療データを問い合わせ。
イリノイ州公衆衛生局慢性疾患課、他のデータ源の利用可能性を探る (例、Medicare など)
上述のデータ収集には3ヶ月を要すると見込まれる。

がん管理プログラムのスタッフは、イリノイ州がん登録からの補助を得て、取得したデータを編集して図版入りの利用者が読みやすい出版物にすることになっている。これには2ヶ月を要する。出版物のグラ刷りをデータとサーベイランス活動グループのメンバー全員とイリノイ州公衆衛生局広報課に送り、レビューとコメントを求める。これに2ヶ月要する。文書が出版され (1ヶ月) 配布される (継続的)。

評価方法: 最初に設定したタイムラインを再検討し、守られているかどうか判断する。守られていない場合は理由を突き止める。出版物に評価用紙を添えて配布し、その情報がどのような役に立ったか、またほかの重要なデータが省かれているのではないかと感じたかどうかを読者に尋ねる。配布リストを点検し、出版物が意図した読者に届いたかどうか確かめる。

「がんの現状」プロジェクトに関する経過報告書

1999年12月22日現在

口腔衛生部長に連絡をとり、データ出版物においてどのようにすれば口腔がんデータを最もうまく描写できるかについて話し合った。

イリノイ州医療費抑制協議会の代表に連絡し、どうすれば出版物に病院退院データを最もうまく組み込めるか判断を仰いだ。

イリノイ州がん登録、イリノイ州保健統計センター、がんプログラムの活動グループのメンバーが会合を開き、出版物用にデータを出力するために用いる ICD-9 コードについて討議した。この出版物で用いる口腔がんの定義を決定した。様式、序論、資源登録簿の組み入れについて討議した。2000年1月13日の次回会議でデータを提示し、同会議においてタイムチャート、表、データのプレゼンテーションについて討議することになっている。

農村保健部の XXX XXXX 氏がデータマッピングの手伝いを申し出てくれた。同氏は活動グループにメンバーとして追加されることになる。

イリノイ CCC 計画

活動グループ： 社会の認知と教育

日付：

担当者：

電話：

ファックス：

電子メール：

プロジェクトの名称：「プライマリー・ヘルスケアと教育においてがんのリスク低減・予防・早期発見に成功するイリノイ・モデルを特定する」

簡単な説明： がんのリスク低減、予防、早期発見に成功するモデルを、プライマリー・ヘルスケア提供者に提示するよう要請する。モデルレビュー委員会がいくつかのカテゴリから事例を選択する。イリノイ・カンファレンスといったものを開催し、選ばれたモデルを出席者に向けてプレゼンテーションする。出席者は他の同僚の保健専門家である。

導入の根拠： プライマリー・ヘルスの専門家は、がんおよびその関連症状の診断と管理に不可欠な役割を演じる。ところが彼らは、リスク低減、予防、早期発見の分野には精通していないことが多い。「モデル」となる取り組みは1) 保健医療専門家に実際に実例を示し、2) 専門教育プログラム用のカリキュラムの策定に利用され、3) イリノイ州でがん管理戦略を教育するために用いられている保健専門家向けのカリキュラムの現行モデルを特定するために重要なものとなる。

目標と達成目標：

目標： プライマリー・ヘルスケア提供者により効果的ながん管理戦略を実行できる能力を付与する。

達成目標：

#1 優先順位 2、戦略 3、活動 1

当局および専門職組織と協働し、質の高い教材とプログラム・カリキュラムの策定に技術援助を提供する。

#2 優先順位 4、戦略 1、活動 1-4

行動 1 保健専門家がすぐ利用できる予防に関する教材、資源、情報を作成する。

行動 2 保健専門家のために予防に関する研修を企画開催する。

行動 3 保健医療専門家間の協働を容易にする。

行動 4 保健専門家教育を受ける学生および医学研修生に、強化したカリキュラム・訓練を提供する。

ツール#5 (続き)

プロジェクトの継続期間： 15～18ヶ月の事業

評価法：

- 影響評価** カンファレンスの前後に会場でテストを行い、態度と知識の変化をアセスメントする。
- プロセス評価** プロジェクトに参加した適当な人物を調査し、プロジェクト全体を実行するのに用いた方法が効果的かつ効率的だったかどうかを判定する。
- アウトカム評価** プロジェクトの6ヶ月前と12ヶ月前に観察、調査およびその他の方法を実施し、出席者の行動の変化をアセスメントする（保健医療専門家たちは自分の患者・クライアントに新しいがん管理戦略を利用しはじめたか？）。

推定予算合計：（人件費、付加給付、旅費、設備費、物件費、委託費、その他の費用）

総予算 83,280,000 ドル； 25,000 ドルは民間の寄付から調達、7,000 ドルは共同スポンサーから調達、7,125 ドルは会議登録料（推定）から調達する。残りの 44,155 ドルは「資金調達・資源活動グループ」の援助を通じて調達する。

委員会メンバーによる現物出資と責任：（ここにはサービスをリストアップしてその概算価値を記入する）

「成功するイリノイ・モデル認定プロジェクト」の経過報告書

1999年12月22日現在

XXXX 博士にプロジェクト報告書を送付しコメントを求めている。プロジェクトの内容の修正案を話し合うために電話会議が設定されることになっている。

3.0 データの利用

このセクションで紹介するツール

ツール#6「がん資源目録用紙」

ツール#7「データ資源一覧表」

ツール#8「地方保健部局ニーズ調査」

このセクションで紹介するツールは、CCCを支援するためのデータの利用例を表している。モデル計画州は計画プロセスの一環として多様なデータを収集し、その目的に関連したいいくつかのツールを利用した。ここにあげるツールの中にはほかのセクションに含まれるものもある。例えば、パートナー調査（ツール#14）は当然データ収集ツールの一種であるし、課題声明書作成ガイド（ツール#16）は、参加者に声明書を作成する際にデータを使用するよう求めている。しかしそういうケースでは、ツールは計画プロセスのほかの特定段階のほうにより直接的に関連している。ここに集めたツールは、計画プロセスのためのデータ使用例である。

一部のモデル計画州が作成したデータ・プレゼンテーション文書は、サイズと書式設定上の制限のためにここに紹介できなかった。例えばメイン州では、保健局のデータ担当スタッフががん関連情報を要約した「ファクトシート：メイン州におけるがんとヘルスケア」を作成した。カンザス州では、保健局の職員が特定のがん部位に関するデータ・パッケージを編纂し、州の初期の計画会議で関連する部位別作業グループにその情報を提示した。イリノイ州の場合、計画調整担当者とデータ担当スタッフが郡レベルのがんプロフィールを作成した。このプロフィールは、個々の議員およびそれぞれの地方保健部局に配布することもできる。一般に、がん関連情報の参考資料は、CCC計画にきわめて有益に利用できる。

ツール#6「がん資源目録用紙」

このツールは、計画プロセスに参加する利害関係者および組織から現在利用できる資源についてのデータ収集に利用される。ツールはイリノイ州の「認知と教育の作業・活動グループ」によって策定され、同州のCCCの取り組みのために有益な情報資源を集めるために使用された。作業・活動グループはこの用紙を通じて集まる情報を使い、資源の格差を分析するとともに策定する必要のある資料を決定した。

ツール#6 イリノイ州がん資源目録用紙

<p>パートナーシップ・メンバーの情報：</p> <p>氏名 _____</p> <p>所属機関・組織 _____</p> <p>ウェブサイトのアドレス _____</p>
<p>資源の名称・題目：</p> <p>資源の対象となるがん（複数可）：</p> <p>乳がん 子宮頸がん 大腸がん 肺がん 皮膚がん 前立腺がん 口腔がん その他 _____</p>
<p>体裁：（1つを○で囲む）</p> <p>しおり カリキュラム ファクトシート フライヤー メディアサンプル パンフレット・小冊子 ポスター プレゼンテーションのアウトライン 広告アイテム スライドプレゼンテーション オーバーヘッドマスター ビデオ 資源カタログ 教育キット モデルがんプログラム・プロジェクト その他 _____</p>
<p>取得：</p> <p>この資源は次の条件で利用可能である（当てはまるもの全てを○で囲む）：</p> <p>公の所有物 無料 実費 その他 _____</p> <p>最初のコピーは無料で入手できるか？ はい いいえ はいと答えた場合、何部まで？ _____</p> <p>印刷物またはビデオ資料の場合、再生可能なマスターを入手できるか？ はい いいえ</p>
<p>資源の詳細：（専門家向けの場合は「対象年齢」および「識字能力」は記入しなくてもよい）</p> <p>ターゲット集団 _____ 対象年齢 _____</p> <p>識字能力 _____ 年生レベル _____ 言語（複数可） _____</p> <p>資源の初版年 _____ 最終改訂年 _____</p>
<p>注文・サンプル情報：</p> <p>資源提供者：</p> <p>住所 _____</p> <p>電話番号電子メール _____ 担当者 _____</p>

ツール#7「データ資源一覧表」

このツールは、州、準州、部族にあるデータ資源のうち、CCC計画と評価を裏付けるのに役立つと思われるものの目録を作成するのに利用できる。バテルがもとのガイダンス文書の資料の補足としてこのツールを策定したときは、計画調整担当者および参加者が計画のためのデータ資源について考えるときの補助になることを意図しており、ここでも同じ目的で再現している。

ツールは5列からなる表である。最初の「データ源」の列は、CCC計画に利用できそうな具体的なデータソースを記入する。サンプルツールには3つの例が記入されているが、それ以外のソースも特定できるだろう。2番目の「データの種類」の列は、書き込まれたデータの具体的な種類を記入する（例、疫学データまたは行動データなど）。3列目の「尺度・指標」には、データソースが提供するがん関連の尺度や指標を記入する。4番目の「データの質と有用性」の列は、そのデータソースの品質または実用性について書き込むスペースである。最後の列には、CCC計画の取り組みにそのデータソースをどのように利用するのかを書き込む。

データ資源一覧表は、計画調整担当者、作業グループ・委員会のメンバー、その他の計画主体のメンバーが利用することができる。記入を終えてまとめたら、マスターの一覧表を、計画パートナーをはじめとする利害関係者に配布し、CCCへのデータ利用の強化を図ることができる。

ツール#7 (サンプル) データ資源一覧表

データ源	データの種類	尺度・指標	データの質と有用性	計画に向けた利用法
例 死亡診断書	疫学… 死亡率 データ	死亡数 年齢調整死亡率 生存率 (5年)	年齢、人種、性、がん部位、時系列、地方 (Region) 別の分析が可能	・問題の大きさを同定し、がん部位に優先順位を付ける
例 BRFSS たばこ消費に関する文献	行動 データ	有病率 検診受診頻度 たばこ消費量	時系列、人口学的特性、地方別の分析、対全国等の分析が可能	・介入プログラムの標的集団を同定する ・対象とするプログラムへの必要性の欠如を同定する
例 保健省、ACSの文献	保健医療 サービス 利用 データ	喫煙のコスト	地方別の分析が可能	・サービスがどこで利用されているのかを確認する ・サービスの利用がニーズに合っているかどうかをアセスメントする ・意識を高める

ツール#8 「地方保健部局ニーズ調査」

このツールは、地方保健部局ががんに関する啓発と教育に地域レベルで取り組む際のニーズに関するデータを収集するために利用される。このツールはイリノイ州保健局が策定したもので、州保健局と地方保健部局がどのように協力すれば、がんへの意識喚起および地域社会での教育の提供に最も有効かを見いだすために使用された。このアンケートはイリノイがん管理計画の普及のフォローアップとして、地方保健部局長および健康教育スタッフに配布された。調査は地方保健部局のニーズについて一般的な情報を引き出したが、保健局と ACS が大腸がん啓蒙に関する訓練を計画する際の補助として具体的な情報についても尋ねている(例、訓練を受けられる職員数)。アンケートは、がん管理計画の実施を支援するためのデータの利用例を示している。

ツール#8 地方保健部局ニーズ調査

イリノイ州公衆衛生局の慢性疾患予防・管理課は、先ごろ「がん予防・管理の推進：イリノイ州行動のための枠組み」と題するイリノイ州向け CCC 計画を策定しました。計画は 1999 年 11 月に地方保健部局長と健康教育担当職員に配布されました。地方保健部局との提携を通じて、この計画に略述した優先事項および関連活動を実施できればと願っております。

下記に記載した簡単な調査は、貴局が地元の地域においてがんの啓発と教育に取り組む際のニーズを最も満たすために、私たちはどのような協力ができるのかを探るためのものです。お手数ですが質問にお答えいただき、記入し終えた調査は 1999 年 12 月 22 日水曜日までに(添付の返信用封筒に入れて)次の住所宛にお送り下さい。

イリノイ州公衆衛生局がんプログラム健康教育担当 XXXXX (XXXX, Cancer Program Health Educator, Illinois Department of Public Health, 535 West Jefferson Street, Springfield, IL 62761)。

全州規模の協議事項であるがん予防・管理を推進するためのご協力に感謝いたします。

がんニーズ調査

地方保健部局名 (任意) : _____

局長名 (任意) : _____

電話番号 (任意) : _____ 電子メールアドレス : _____

ツール#8 (続き)

1. 貴局の地元地域において、CCC の取り組みを支えるために、地方保健部局、イリノイ州公衆衛生局、および ACS の地域・地方事務所はどうすれば最も効果的に調整して協働できると思いますか？

イリノイ州全体ではどうでしょうか？

2. 貴局のがん対策スタッフは、がん関連の教材資源（印刷資料、視聴覚資料など）を手に入れるのに支援を必要としていますか？

はい いいえ

3. 貴局のがん対策スタッフは、がん関連のウェブサイト資源を見つけるのに支援を必要としていますか？

はい いいえ

4. 貴局のがん対策スタッフは、がん関連の広報アイテムを見つけるのに支援を必要としていますか？

はい いいえ

5. 貴局のがん対策スタッフにはどのタイプのメッセージ配信が最も効果的でしょうか？

ワークショップ 郵便物

電子メール 電話

6. 2000 年 3 月は全国大腸がん啓発月間に指定されています。イリノイ州公衆衛生局が ACS と共同で大腸がんに関する訓練を開くとすれば、貴局のがん対策スタッフは参加に関心があるでしょうか？ 訓練は貴局の最寄りの ACS 事務所で実施されます。

はい いいえ

7. 貴局のがん対策スタッフは、がん啓発および教育訓練のためにどのくらい遠くまで出張することができる・意志があるでしょうか？

出張はまったく不可能 半径 60～90 マイル

半径 30～60 マイル 半径 90～120 マイル

8. 貴局のがん対策スタッフが出張する場合、何曜日（複数可）が都合がよいですか？

月曜日 木曜日

火曜日 金曜日

水曜日

9. イリノイ州における CCC を支えるために、他にどのような方法が最も効果的だとお考えですか？

4.0 パートナーシップの構築

このセクションで紹介するツール

ツール#9、10「計画会議の招待状と登録用紙」

ツール#11、12、13「計画パートナーの関心度および参加誓約用紙」

ツール#14「計画パートナー調査」

ツール#15「CCC 計画策定のための構造とプロセスの提案」

このセクションに掲載するサンプルツールは、調整担当機関が計画主体の基礎を作るパートナーシップを構築するときに助けになり、グループとその構成員の結束を確保する役に立つ。これらのツールはいくつかの活動に役立てられる。例えば利害関係者の特定や計画参加者の募集、計画参加者についての情報収集、参加者が計画プロセスにどう関与していくかの決定、計画主体内での意思疎通と討議の円滑化などである。

一部のモデル計画州（メイン、ユタ）は、マイクロソフトのアクセスやエクセルなど市販のデータベース・ソフトウェアを使って計画参加者のデータベースを作り上げて維持した。計画参加者のデータベースは、最新のメンバーリストの作成、大量メール機能の創設、会議出席者の追跡に利用できる。このようにして、データベースは CCC 用の計画主体を構築し維持する役に立てる。このようなデータベースの性質はツールキットでの提示には応じにくい。よって、ここでは例を掲載していない。

ツール#9、10「計画会議の招待状と登録用紙」

これらのツールは、利害関係者を計画会議に招待して参加登録できるようにするために利用される。モデル計画州は、全ての会議に何らかの招待状と登録用紙を使用した。ここで紹介する例は、メイン保健局とアーカンソー保健局の職員が作成し、両州の第1回計画会議で使用されたものである。これら2つのツールは通常1つの招待パッケージに同封されている。

招待状は、計画イニシアティブをパートナー候補に紹介し、CCCについて多少の説明を行う機会になる。慢性疾患担当課長か調整担当機関の上層部のだれかに招待状に署名してもらえば、イニシアティブの信用が増加する。

登録用紙は計画会議への登録だけでなく、計画参加者の連絡先情報を集めるのにも役立つ。記入済み用紙を受け取ったら、調整担当機関の職員は情報をデータベースまたは他の記録システムに入力すればよい。さらに、登録用紙によって調整担当者は会議への出席が見込まれる人数を推定でき、適宜計画することが可能になる。またこの情報をもとに、計画調整担当者は予測される出席者と実際の出席者を比較し、計画の取り組みに参加する特定の集団または組織の出席パターンを追跡することができる。主要組織または個人から登録用紙が届かなかった場合、計画調整担当者はさらに追求し、一貫した幅広い参加を確保し、さらには計画主体の代表性を確保するための措置を講じることができる。

ツール#9 招待状のサンプル

氏名

住所

市町村

1999年2月5日

〇〇様

保健局は州規模のCCCのための計画プロセスを進めております。1997年に疾病管理予防センター(CDC)は、CCCを「予防、早期発見、治療、リハビリテーション、緩和ケアを通じてがんの発生率、罹患率、死亡率を低減するための統合的かつ協調的アプローチ」と定義することにより、がんに対するより幅広い取り組みを開始しました。このアプローチは、経営、基礎・応用研究、臨床サービス、評価、健康教育、プログラム開発、公共政策、サーベイランス、ヘルスコミュニケーションをはじめとする多くの領域を統合しています。

CCCはその定義の幅広さゆえ、これまで関与してこなかった幅広い範囲の組織やパートナーを含めることが重要です。1999年3月8日には会議が開かれ、メイン州が今日まで行ってきたがん対策の取り組みの概要とCDCの観点からとらえたCCCについて発表されるほか、ミシガン州保健局の体験に基づいた計画モデルが紹介されることになっています。この会議の後、当保健局はメイン州が包括的なやり方でがん対策に取り組むために講じなくてはならない措置の特定を開始します。貴組織はメイン州のCCC計画の取り組みに関係があることが確認されています。貴組織から、がん予防・管理の推進に関心をお持ちの方を代表として2名この会議にご招待します。ぜひ会議に出席してこの取り組みを継続していただきたいと思えます。

会議は1999年3月8日の午前9時から午後1時まで開催し、終了後はバンゴアのイースタン・メイン・メディカルセンターで昼食を予定しています。会議はポートランドのブルークロス・ブルーシールドでも、テレビ電話会議として午前9時から12時まで開かれることになっています。仮の議事日程と登録用紙を2通同封いたします。貴殿(または貴組織のよりふさわしい職員の方)がメインのCCCの取り組みに参加することに興味をお持ちであれば、同封の用紙に必要事項を記入して、2月19日までに郵便かファックス(XXX-XXXX)で返信してください。ご不明な点がございましたら、アニタ・テグまでお問い合わせ下さい(電話:XXX-XXXX、Eメール:XXX@)。

CCCの取り組みに参加されますことを楽しみにお待ちしております。

敬具

XXXXXXXXXXXX

地域家庭保健課長

同封物(3)

ツール#10 登録用紙（アーカンソーCCC計画）

9:00am-1:00pm アーカンソー大学 学長室
2404 North University Avenue, Little Rock, Arkansas
2000年8月16日

- ・ CCC計画会議に出席する。
- ・ CCC計画会議には出席しないが、今後の計画の取り組みに参加することを希望する。

氏名： _____
肩書き： _____
所属組織： _____
住所： _____
電話番号： _____
ファックス： _____
電子メール： _____

この用紙を8月4日までに郵便またはファックス（XXXXXXXX）で返信してください。ご不明の点がございましたら、XXX-XXX-XXXXのXXXXXXXXにお電話下さい。
ご協力ありがとうございました。

ツール#11、12、13「計画パートナーの関心度および参加誓約用紙」

計画パートナーの関心度および参加誓約用紙は、調整担当機関がパートナーを募集し、そうしたパートナーに計画プロセスへの参加の意思ならびに考える関与の程度を示してもらうために利用される。この種のツールはいくつかのパターンがモデル計画州で使用されているが、目的はどれも似通っている。このツールが会議登録用紙と異なるのは、会議登録ツールは1回の計画会議に限定されるが、こちらは個人または組織に全計画プロセスへの参加者として登録してもらうことを意図している点である。

ツール#11a およびb「パートナー関心度調査用紙」

パートナー関心度調査用紙は、調整担当機関が利害関係者に計画イニシアティブに参加者として署名登録してもらい、またほかの組織や個人を計画参加者として推薦してもらうために利用された。ここに紹介する例は（ツール#11a および#11b）はメーン州とカンザス州のものだが、この種の用紙は複数のモデル計画州で使用された。用紙は一般に第1回計画会議の前または最中に、招待状および会議登録用紙と一緒にパートナー候補に配布された。

ツール#12「パートナー参加誓約用紙」

メイン州の調整担当機関はパートナー関心度調査用紙の利用に加え、パートナー参加誓約用紙を使用した。この用紙においては、組織はメイン CCC コンソーシアムに投票メンバーとして参加することを正式に誓約し、組織の代表者と議決権の代理人を指定する。メイン州では計画プロセスの早い段階で、コンソーシアムのメンバーシップを個人ではなく組織に限定することを決定した。個人は関心度調査用紙に記入して、作業グループへの参加といった特定の領域で計画プロセスに関与した。計画が必ずや協働的な取り組みとなり、1つまたは少数の組織の利益が計画文書に過度に代表されることのないようにするために、パートナー組織は組織の代表者を1人と、代表者が活動に参加できないときの代理人1人だけを指名することが認められた。被指名人（代理人）は、コンソーシアム内でのあらゆる公式意思決定プロセスにおいて自分の組織を代表した。言い換えれば、1組織1票ということである。

ツール#13「作業グループ・委員会登録用紙」

このツールは、計画参加者が計画主体のある作業グループまたは委員会に関与する意志を表示するために使用される。このセクションの他のツールは利害関係者が計画プロセス全体に参加し、計画主体のメンバーになることへの興味を示すために利用されるが、この登録用紙は計画主体の下位グループ（例、がん部位または一連のがんサービスの各側面別に構成した委員会または作業グループ）に限定されている。もっとも多くの場合こうした下位グループが計画作業の大半を実行する。イリノイ州はそれ専用の登録用紙を用い、第1回計画会議で利害関係者に配布した。イリノイ州の用紙には連絡先情報、希望する会議場所、作業グループの会合頻度や用紙返却場所についての情報も記入または記載する欄があった。記入を終えた用紙は作業グループのファシリテーターに配られ、ファシリテーターはそこからボランティアに連絡をとって初回の作業グループ会議に招待した。カンザス州とメイン州は、それぞれ関心度用紙と参加誓約用紙を作業グループ登録の要請に併用した。

ツール#11a CCC 関心度調査用紙

メイン州において CCC の計画を開始するためには、州の計画、実施および評価の取り組みの調整機関として機能する諮問機関を作り上げることが不可欠です。この機関は CCC 計画の策定において積極的な役割を果たすことになります。機関はがん予防・管理諮問委員会と各種小委員会で構成され、前者は執行部の役割を果たし、後者は優先事項の特定のほか、その優先事項に取り組むための目標、達成目標および戦略の決定に対する一義的責任を有します。CAPACAC と小委員会スタッフの調整を助けるために、保健局の職員をサポートにあたらせることになっています。

氏名： _____
肩書き： _____
所属組織： _____
住所： _____
電話番号： _____
ファックス： _____
電子メール： _____

- ・ がん予防・管理諮問委員会への参加に関心がある。
- ・ 小委員会への参加に関心がある。
- ・ 小委員会の議長を務めることに関心がある。
- ・ CCC 事業への参加に関心はあるが、どのように参加するかはよくわからない。
- ・ CCC 事業への参加には関心がない。

CCC 計画プロセスに参加すべきだと思う人物・組織をご記入下さい。

この調査を 2 月 3 日までに XXXXXXXXXX にファックスで送信してください。ご協力ありがとうございました。

ツール#11b カンザス CCC 計画参加関心度調査用紙

CCC は「予防、早期発見、治療、リハビリテーション、緩和ケアを通じてがんの発生率、罹患率、死亡率を低減するための統合的かつ協調的アプローチ」と定義されています。カンザス州で包括的ながん対策を開始するためには、こうした取り組みの計画、実施、評価に力を注ぐパートナーの存在が不可欠です。カンザス州の CCC 計画プロセスが成功するかどうかは、自らの専門知識、資源、経験を進んで共有しようとする多様なパートナーの参加と関与にかかっています。

お手数ですが、この用紙にご記入下さい。この機会に、カンザス州の CCC 計画の取り組みに対して貴組織の支援と参加をご提供くださるようお願いいたします。また、計画プロセスにパートナーとして参加していただけたらそのような組織があれば教えてください。**10月29日までに XXX-XXX-XXXX にファックスでお送り下さい。**

氏名： _____ 肩書き： _____
所属組織： _____
住所： _____
電話番号： _____ ファックス： _____
電子メール： _____

- ・私の組織はカンザス州の CCC 計画の取り組みに参加することに関心がある。
- ・私の組織はカンザス州の CCC 計画の取り組みで指導者の役割を担うことに関心がある。
- ・私の組織は CCC 事業に必要なに応じて参加することに関心がある。

最も参加に関心のある作業グループを選んでください（該当するもの全てにチェック）

がん部位： 乳房 子宮頸部 前立腺 肺 皮膚 大腸

分野横断的問題： 資金調達 スタッフ パートナーシップ・インフラストラクチャー
立法 政策・計画 サーベイランス・研究 評価
専門家教育 公共教育 異種集団

削減戦略： 予防 早期発見 治療 リハビリテーション 緩和ケア

このページの裏側を使って、CCC 計画プロセスに加わるべき組織をご紹介します。

ツール#12 パートナー参加誓約用紙

組織参加誓約用紙

メイン州の CCC 計画の策定は、州全域のがんに関心のある組織のコミットメントにかかっています。メイン CCC コンソーシアムに参加する各組織は、計画プロセス全体を通じて積極的に参加することを誓約するよう求められます。

組織は代表者 1 名とその代理人 1 名を指名しなければなりません。その代表者は状況の進展や情報を伝え、計画の展開にもなうさまざまな計画要素に対する組織のコミットメントを述べることができます。

1) あなたが代表となっている、このプロセスへの参加に同意した組織の名前と、2) あなた及びあなたの代理人との連絡方法について知るために、次の欄にご記入下さい。

メイン CCC コンソーシアム

に参加する組織の名称： _____

組織の住所： _____

	指定代表者	指定代理人
氏名	_____	_____
住所	_____	_____
電話番号	_____	_____
ファックス	_____	_____
電子メール	_____	_____

あなたまたは組織の同僚の方が、メンバーになることに関心のある作業グループがあれば印を付けてください（複数可）。

- ・ 一次予防
- ・ 早期発見
- ・ 治療
- ・ 生存・リハビリテーション
- ・ 緩和ケア

ファックス送信先： XXXXXXXXXX
(XXX) XXX-XXXX